

令和6年度茨城支部保険者機能強化予算(案)について

1. 令和6年度 支部保険者機能強化予算の設定額について

【令和6年度 茨城支部予算（案）】

	予算区分	分野（経費名）	令和6年度 茨城支部予算（案）	令和6年度 茨城支部予算枠	【予算枠の算出基準】
支部 保険者 機能 強化 予算	医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	1,819千円	14,767千円	協会けんぽ全体予算8億円を全支部一律に定額部分600万円を設定したうえで、残りを加入者数で按分して加算し、効率化分（3%）を差し引いた額
		広報・意見発信経費	12,948千円		
		合計	14,767千円		
		特別枠	－	3,650千円	
	保健事業予算	健診経費	36,145千円	68,977千円	協会けんぽ全体予算40億円を各支部の40歳以上の加入者数で按分した額（前年度の予算枠71,111千円）から3%効率化した額
		保健指導経費	10,659千円		
		重症化予防事業経費	10,406千円		
		コラボヘルス事業経費	9,380千円		
		その他の経費	2,387千円		
		合計	68,977千円		
特別枠	1,074千円	17,060千円	支部に割当てられた額		

【特別枠予算について】：エビデンスを踏まえた支部の課題解決に向けた取組であり、かつ医療費適正化または加入者の健康増進に資する取組を対象に、通常の予算に追加して措置されるもの。なお、効果的な取組は他支部へ紹介し他支部への事業拡大を図る。

2. 令和6年度 茨城支部保険者機能強化予算【支部医療費適正化等予算】

事業名		令和6年度	令和5年度	備考	
医療費適正化対策 経費	企画部門関係	お薬手帳カバーを活用したジェネリック医薬品の使用促進	1,287千円	1,991千円	ジェネリック希望を記載したお薬手帳カバーを作成し、薬局を通じて配布
		ジェネリック医薬品使用割合等の薬局向け情報提供	532千円	531千円	医療機関向けジェネリック使用割合等の情報提供の一部外部委託
	小計		1,819千円	2,522千円	
広報・意見発信経費	紙媒体による広報		1,635千円	1,635千円	納告チラシや健康保険制度説明会資料等の作成
	その他の広報	適正受診にかかるSNS等の媒体を活用した広報（新規）	2,244千円	1,540千円	SNS等媒体を活用し、正しい医療のかかり方の普及・啓発広報を実施
		乳幼児世帯向け適切な医療のかかり方啓発事業	2,343千円	2,343千円	乳幼児世帯に、乳幼児向けの上質な医療のかかり方リーフレットを配布
		各種メディアを活用した広報	1,804千円	1,804千円	新聞、広報誌等の各種媒体を活用し、協会けんぽの事業を周知
		ジェネリック医薬品の使用促進に向けた広報展開	4,922千円	4,922千円	動画、Web、鉄道広告等を活用し、ジェネリック使用促進広報を実施
小計		12,948千円	12,244千円		
合計		14,767千円	14,766千円		

※ 端数処理の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。以下同様

3. 令和6年度 茨城支部保険者機能強化予算 【支部保健事業予算】

事業名		令和6年度	令和5年度	備考	
健診経費	①	事業者健診結果データ取得	11,220千円	9,570千円	受診率の低い事業所に対し生活習慣病予防健診の受診、又は事業所健診データの提出を勧奨
	②	健診未受診者（漏れ者）健診	4,488千円	4,400千円	特定健診未受診者に対し、市町村ごとの健診案内を送付し、健診受診勧奨を実施
	③	協会単独の集団健診実施	4,642千円	3,889千円	被扶養者の健診受診機会の拡大を図るため、協会単独の集団健診を実施
	④	健診推進経費	8,025千円	9,146千円	健診機関への報奨金 （健診実施件数の目標超過分）
	⑤	健診・保健指導の受診率向上に向けた漫画リーフレット	3,740千円	3,740千円	加入者にわかりやすい漫画による受診勧奨リーフレット作成
	⑥	「健診受け方ガイド」（特定健診実施機関一覧）の作成	517千円	517千円	特定健診受診券に同封している一覧の作成
	⑦	生活習慣病予防健診機関による受診勧奨	116千円	116千円	健診機関への委託による受診勧奨
	⑧	生活習慣病予防健診予約状況照会サービス	264千円	264千円	生活習慣病予防健診予約状況照会サービス運営における費用
	⑨	ラッピングバス広告	787千円	1,620千円	生活習慣病予防健診受診勧奨のための広告
	⑩	ラジオ・広報誌の広告	2,346千円	4,326千円	健診、保健指導に関するラジオCM、広報誌への記事掲載
	⑪	被扶養者の健診結果データ取得 （削除）	-千円	96千円	特定健診未受診とされている被扶養者の人間ドッグ等の健診結果データ取得
	⑫	特定健診デビュー年齢対象者への受診勧奨 （削除）	-千円	495千円	特定健診デビュー年齢対象者へサービスを利用して健診受診を意識付け
	⑬	生活習慣病予防健診再勧奨の実施 （削除）	-千円	1,030千円	未受診者がいる事業所を対象に、年度内2回目の健診案内を送付し、健診受診勧奨を実施
小計		36,145千円	39,259千円		

【支部保健事業予算】

事業名		令和6年度	令和5年度	備考	
保健指導 経費	①	中間評価時の血液検査費	2,063千円	2,063千円	保健指導対象者の中間評価時に血液検査を実施
	②	旅費、医師謝金、パンフレット作成、 図書購入等の事務経費	1,993千円	1,993千円	保健指導の必要経費
	③	保健指導推進経費	627千円	627千円	保健指導実施機関への報奨金
	④	共同利用周知チラシの作成	771千円	771千円	指導対象者の個人情報事業所と共同利用することを受診時にチラシで周知する
	⑤	職員の事業所訪問による健診受診 勧奨	88千円	88千円	健診受診勧奨が必要な事業所を選定し、職員が直接訪問する。
	⑥	検診車における特定保健指導遠隔 面談分割実施 (新規)	220千円	-千円	検診車での健診当日に委託業者により保健指導の初回面談を遠隔機器にて実施する。
	⑦	保健指導未利用者に対する生活改 善・保健指導受入促進 (新規)	4,897千円	-千円	保健指導による効果が顕在化しやす動機付け支援対象者に特定保健指導の受入れ、生活改善を促すリーフレットを送付
小計		10,659千円	5,542千円		
重症化予防 経費	①	未治療者受診勧奨	7,854千円	7,854千円	未治療者に対し受診勧奨文書発送と電話勧奨実施
	②	重症化予防 (糖尿病性腎症)	2,992千円	2,992千円	かかりつけ医との連携による糖尿病性腎症等患者への重症化予防事業
小計		10,846千円	10,846千円		
コラボヘルス 事業経費	①	健康測定機器貸出	3,582千円	4,840千円	宣言事業所のインセンティブとして健康測定機器を貸出
	②	健康経営推進のための講師派遣	2,009千円	2,200千円	宣言事業所のインセンティブとして健康に関する出前健康講座の講師を派遣
	③	健康経営推進のための広報	3,173千円	1,250千円	健康経営普及促進、宣言事業所拡大に向けた広報物の作成、配布。
	④	事業所カルテ送付	616千円	1,512千円	宣言事業所の普及、取組支援のため事業所毎の健康度診断シート (事業所カルテ) を提供
	⑤	健康経営ワークショップ (削除)	-千円	735千円	健康経営定着に向け体験型研修会でノウハウ共有
	⑥	健康経営セミナー (削除)	-千円	303千円	健康経営セミナー (茨城県と共催) 開催費用
	⑦	禁煙啓発リーフレット (削除)	-千円	-千円	禁煙の意識啓発、禁煙治療の案内
小計		9,380千円	10,839千円		

【支部保健事業予算】

事業名		令和6年度	令和5年度	備考	
その他の経費	①	健康イベント参加	297千円	297千円	各種健康イベントに参画し、健康づくりの呼びかけと協会事業を周知
	②	動画による保健事業広報	2,090千円	2,090千円	Youtube広告、デジタルサイネージ、Web広告等の広告動画展開
	③	スマホ用健康アプリを活用した健康づくり事業の推進 (削除)	-千円	110千円	県と連携し、「元気アップ!りいばらき」を活用した健康づくりを推進
小計		2,387千円	2,497千円		
合計		68,977千円	68,977千円		

事業名		令和6年度	令和5年度	備考
特別枠	メタボ予備軍に対するメタボ流入阻止 (35~39歳)	1,074千円	-千円	35~39歳のメタボ予備軍を対象に生活習慣改善を促すリーフレットを送付
計		1,074千円	-千円	

【参考】今後のスケジュール

